

2012年7月31日

報道関係各位

一般社団法人グランフロント大阪 TMO
一般社団法人ナレッジキャピタル

**うめきた先行開発区域プロジェクト「グランフロント大阪」
一般社団法人グランフロント大阪 TMO、ならびに
一般社団法人ナレッジキャピタル設立について**

うめきた先行開発区域プロジェクト「グランフロント大阪」につきましては、竣工後のまちの一体的な運営を担うタウンマネジメント組織設立に向け、2009年9月に開発事業者12社（※1）にてTMO設立準備委員会を設立し、その後、法人化に向けて事業内容の検討を進めて参りましたが、本年5月に「一般社団法人グランフロント大阪TMO」（以下「TMO」）を設立し、本日、第一回社員総会を開催致しましたので、TMOの組織概要をお知らせ致します。

また、同開発の中核施設「ナレッジキャピタル」の運営を担う組織として、2009年4月に開発事業者12社にて「株式会社KMO」（旧社名：株式会社ナレッジ・キャピタル・マネジメント）を設立し、企画・開発を進めて参りましたが、この度、より幅広い活動の展開と多くの方々に参画いただくため、新たな企画運営組織として本年6月に「一般社団法人ナレッジキャピタル」を設立し、本日、第一回社員総会を開催致しましたので、併せてお知らせ致します。なお、株式会社KMOは、施設管理ならびに事業開発会社として継続致します。

（※1. 開発事業者 12社）

N T T 都市開発株式会社、株式会社大林組、オリックス不動産株式会社、関電不動産株式会社、株式会社新日鉄都市開発、積水ハウス株式会社、株式会社竹中工務店、東京建物株式会社、日本土地建物株式会社、阪急電鉄株式会社、三井住友信託銀行株式会社、三菱地所株式会社

記

【一般社団法人グランフロント大阪 TMO 組織概要】

1. 設立主旨

- ・ TMOは、大阪市が策定した大阪駅北地区まちづくり基本計画、大阪駅北地区地区計画及び都市再生特別地区の都市計画決定を踏まえ、公民連携による持続的且つ一体的なまちの運営を推進することにより、グランフロント大阪を中心とした地域の活性化、環境の改善及びコミュニティの形成等に関する事業を展開します。
- ・ 単に「働く・消費する・住む・泊まる」という機能を独立した形で提供するのではなく、公共空間を含めた一体的なタウンマネジメント組織 TMO が、多様な人々の交流や感動との出会いを生み出す「体験」や「経験」を主体的に創出することにより、グランフロント大阪の付加価値を高め、梅田地区全体の持続的な発展をめざしていきます。

2. 理事構成

代表理事	林 総一郎（三菱地所株式会社 常務執行役員）
理事	西名 弘明（オリックス不動産株式会社 代表取締役会長）
理事	杉山 健博（阪急電鉄株式会社 常務取締役）
理事	長谷川 博（株式会社大林組 専務執行役員 大阪本店長）
監事	稲垣 士郎（積水ハウス株式会社 取締役副社長兼 CFO）

3. 事業内容

- ・TMOは、公民連携並びに地域連携による新しい一体的なまちの運営を担う「まちづくり推進部」と、北口広場やナレッジプラザをはじめとしたまち全体の公開スペースを活用し、まちのプロモーション活動を展開する「プロモーション部」にて構成します。

(1) まちづくり推進事業

① 公民連携による公共空間の管理・運営

- ・うめきた先行開発区域内にある公共空間（大阪北口広場・歩道・敷地内オープンスペース）をTMOが一体的に管理・運営することにより、質の高い管理水準を維持します。また、新たな都市計画制度等の活用をめざし、公共空間におけるイベント・オープンカフェ・広告掲出などの取り組みにより、良好な都市景観やまちの賑わいを創出します。

② 梅田地区の回遊性向上を図る交通サービスの提供

- ・グランフロント大阪を含む梅田地区全体の交通環境の改善及び来街者の回遊性の向上をめざし、エリア巡回バスやレンタサイクルの交通サービスを提供します。また、エリア巡回バス運行ルートに近接する既存駐車場との連携を図り、梅田地区中心部への自動車交通の流入を抑制する試みを行います。

③ 外部連携によるエリアマネジメント活動の推進

- ・2009年11月に、西日本旅客鉄道株式会社、阪急電鉄株式会社、阪神電気鉄道株式会社と共同で設立した「梅田地区エリアマネジメント実践連絡会」を通じて、地域の方々やまちづくり団体、行政などとの連携を図り、イベントや情報発信などを行うことにより、梅田地区の魅力向上を図ります。
- ・また、東京丸の内内で実施されている「環境まちづくりサロン」（行政及び全国のエリアマネジメント団体で構成）や関西経済連合会が実施する検討会などに積極的に参画し、エリアマネジメント活動を推進していきます。

(2) プロモーション事業

① イベントプロモーションによる賑わい演出

- ・まち全体のブランド醸成及び集客促進を目的に、TMO主催イベントを実施するほか、有力なメディア等外部との共同による共催イベント、他主体が開催するイベント等を幅広く展開し、来街者が夢を実現できるまちをめざします。

② 公開スペースを活用した広告事業の展開

- ・継続的且つ自立的なタウンマネジメント活動を推進するための枠組みとして、TMOが実施する地域の活性化に資する事業や維持管理事業の財源に充当することを目的として、

まち全体の公開スペースを活用した広告事業を展開していきます。

- ・ まちの景観・美観に配慮しつつ、西日本最大のターミナル大阪・梅田駅前に立地するポテンシャルを活かし、まち全体のメディア化を図ることにより、まちのブランド価値向上をめざします。

③ユビキタス環境を活用したまちのコミュニティ形成の促進

- ・ まちに配置するデジタルサイネージ端末と来街者が所有するスマートフォンを通じ、来街者に適した情報を適切なタイミングで配信することで、より多くのまちの魅力に接する機会を提供し、まちのファン作りやまちとのコミュニティ活動の活性化に繋げるシステム（※開発事業者 12 社と㈱電通国際情報サービスによる共同開発）を導入します。
- ・ 来街者が手持ちのRFID付きカード（非接触ICカード等）や携帯電話等をデジタルサイネージ端末にタッチすることで利用者を匿名（個人が特定されない形）で識別する匿名IDを発行します。発行後の利用者のデジタルサイネージ端末上での情報体験やまちの中での行動履歴や購買履歴等の「ライフログ」を匿名IDに紐付けて収集し、利用者の属性や活動傾向を分析することで、まちと利用者のOne to One型のコミュニケーションを実現することにより、まちの在住者・在勤者・一般来街者それぞれの滞在価値向上及びまち全体のエリアブランド向上をめざします。

<TMO 運営スペース>



【一般社団法人ナレッジキャピタル組織概要】

1. 設立主旨

ナレッジキャピタルはグランフロント大阪の中核施設であり、感性と技術を融合した新しい価値創出拠点をめざします。一般社団法人ナレッジキャピタルはナレッジキャピタルの企画運営法人として、活動の中心となる優れた才能の集積と一般消費者の集客、両者の交流促進による新しい価値創出を支援し、日本の文化・経済の発展と世界の平和実現に貢献する活動を行い、ナレッジキャピタルが持つ場（施設）と機能（人的支援）を活用して四つの目的達成のための業務を遂行します。

- ・ 産業創出一分野を超えた多様な人材の参画と協働による新しい製品やサービスの創出
- ・ 文化発信－幅広い生活者が参加し、学び、創り、発表できる文化装置としての仕組み
- ・ 国際交流－ビジネスと観光に対応するアジアのゲートウェイとしての拠点形成
- ・ 人材育成－産官学連携による、世界を舞台に活躍できる様々な世代の人材育成

2. 理事構成

代表理事	宮原 秀夫（元大阪大学総長、独立行政法人情報通信研究機構 理事長）
理事	西名 弘明（オリックス不動産株式会社 代表取締役会長）
理事	間淵 豊（オリックス不動産株式会社 専務執行役員 西日本営業本部長）
理事	林 総一郎（三菱地所株式会社 常務執行役員）
監事	雲嶋 寧彦（オリックス・エム・アイ・シー株式会社 執行役員）

3. 事業内容

ナレッジキャピタルにおける直営事業の運営、およびナレッジキャピタルの発展に寄与する外部連携など公益的な取り組みを推進することを目的とする。

- （1）体験型及び双方向のコミュニケーションを特徴に持つ「The Lab. みんなで世界一研究所」における展示・貸館およびこれに付随するカフェ、ショップの運営事業
- （2）新しいプロジェクトやさまざまな活動を生み出す会員制サロンの運営
- （3）プロジェクトベースでも、ご利用いただけるコラボレーションオフィス事業
- （4）ナレッジキャピタルの機能を活用したアワード（表彰・顕彰）事業
- （5）ナレッジキャピタルに関する広報・プロモーション事業
- （6）その他前各号に附帯または関連する事業

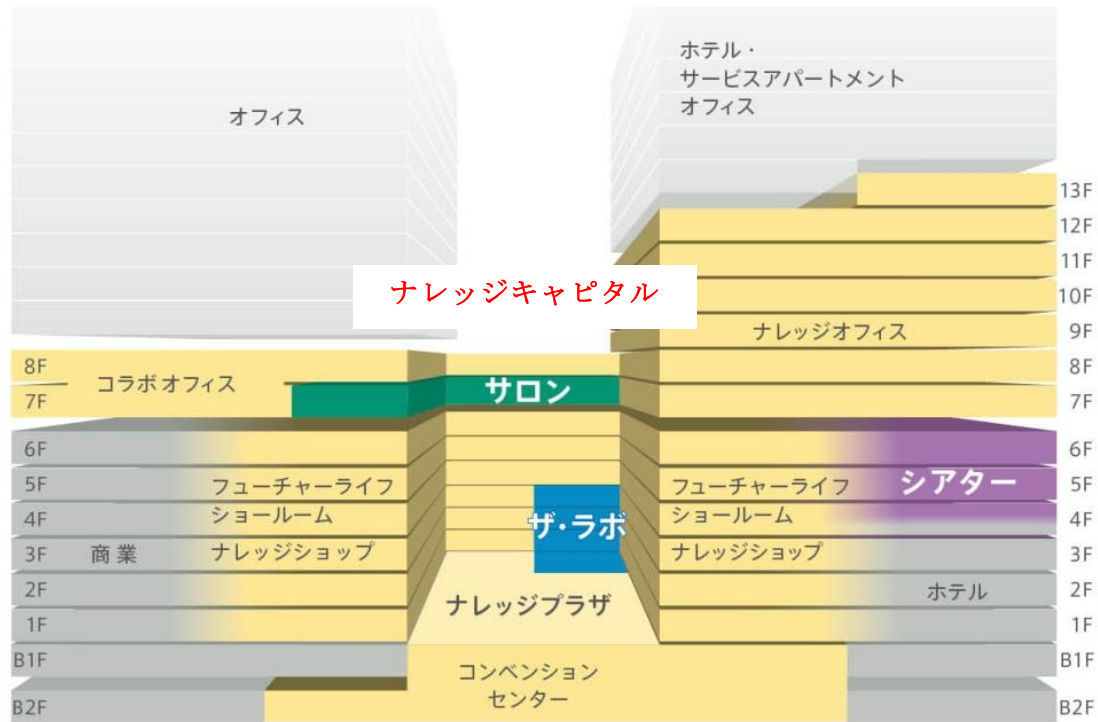
4. <ご参考>株式会社 KMO の事業内容

ナレッジキャピタルに入居するテナント等の運営管理、およびナレッジキャピタルの事業開発を行うことを目的とする。

- （1）企業とユーザーが未来生活を共創していく F L S（フューチャーライフショールーム）の運営管理
- （2）大学、研究機関、企業等が集積するナレッジオフィスの運営管理

- (3) 舞台演劇、ビジネスユースとしてのナレッジシアターの運営事業
- (4) ナレッジキャピタルの事業開発業務

<ナレッジキャピタル施設構成図>



<ナレッジサロン>



<The Lab. みんなで世界一
研究所【project name】>



<ナレッジシアター>



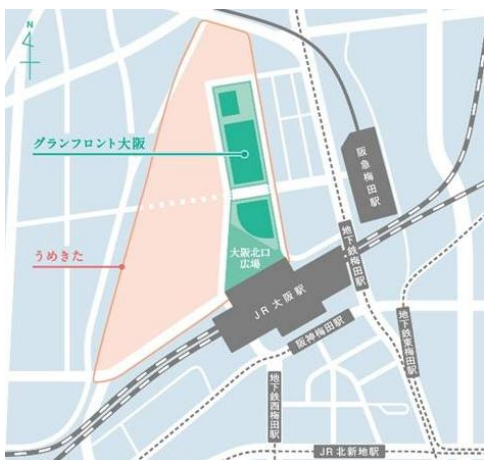
以上

(ご参考)

【うめきた先行開発区域プロジェクト「グランフロント大阪」について】

梅田貨物駅を中心とする約24haの「うめきた」(都市再生緊急整備地域内)において、2005年6月に先行開発区域(約7ha)としてUR都市機構が「大阪駅北大深東地区土地区画整理事業」に着手、地権者であるUR都市機構と鉄道・運輸機構が開発事業者を募集。2006年5月、11月に開発事業予定者が決定され、2007年6月に土地の引き渡し完了。2008年2月に「都市再生特別地区」として都市計画決定。2010年3月に新築工事着工。2013年3月竣工予定。オフィス、商業、ホテル・サービスアパートメント、分譲住宅、ナレッジキャピタルにて構成。

<位置図>



<全体イメージパース>

